

2025 年 5 月 30 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 九 州 経 済 研 究 所

最近の県内景況は、消費関連、観光関連がやや持ち直し、畜産関連で持ち直しの動きとなっている。一方、生産活動、投資関連がやや弱含み、雇用情勢が弱含んでいる。全体として回復の動きは続いているものの、食料品を中心とした物価上昇やトランプ関税の影響には注意する必要がある。

生産活動は、2月の鉱工業生産指数が前年を下回った。食料品、電子部品・デバイス、窯業・土石製品、汎用・生産用機械のいずれも前年を下回った。

畜産関連では、4月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5は前年をやや上回り、去勢A4は前年を上回った。また豚肉は前年を下回り、ブロイラーもも肉、むね肉は前年を大幅に上回った。鶏卵相場は前年を大幅に上回った。

個人消費関連は、3月の百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額、4月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数は前年を上回った。

観光関連では、4月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、6か月連続で前年を上回った。種子島・屋久島地区は12か月連続で前年を下回り、奄美地区は7か月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は、前年を上回る調査対象施設が多くみられた。

投資関連では、民間建築工事費予定額は前年を下回った一方、公共工事請負金額、新設住宅着工戸数は前年を上回った。

雇用情勢は、3月の有効求人倍率は前月を0.03ポイント上回る1.11倍となった。

【生産活動】... やや弱含み

電子部品関連は、5G関連の需要が回復しない一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きがみられるが、買い替えサイクルの長期化などにより、回復の動きは鈍い。今後はトランプ関税の影響を注視する必要がある。

3月の焼酎生産は、3か月連続で前年を下回った。芋焼酎がビール、ハイボールなど他の酒類との競争で苦戦しており、出荷量は4か月連続で前年を下回った。

3月のかつお節生産は、2か月ぶりに前年を上回った。

4月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが3か月連続で前年を下回り、民間工事向けは19か月連続で前年を下回り、全体では15か月連続で前年を下回った。

4月の紙パルプ生産は、5か月連続で前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 持ち直しの動き

4月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。4月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5が前年をやや上回り、去勢A4が3か月連続で前年を上回った。3月の枝肉生産量は前年をやや上回った。

4月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、花見需要の伸び悩み等による需要低迷から2.6%減と7か月ぶりに前年を下回った。3月の枝肉生産量は前年を下回った。

4月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は21.6%増と7か月連続で前年を上回り、むね肉は20.1%増と7か月連続で前年を上回った。4月の処理羽数は前年をやや下回った。

4月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、全国的な鳥インフルエンザの影響により52.5%増と前年を大幅に上回った。3月の配合飼料価格は21か月連続で前年を下回った。

【消費関連】... やや持ち直し

3月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品は前年を上回り、全体では5か月連続で前年を上回った。

3月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストア、コンビニエンスストアのいずれも前年を上回った。

4月の乗用車新車登録台数は、4か月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は0.5%増、小型車が44.4%増となった。4月の軽自動車届出台数は4か月連続で前年を上回った。

【観光関連】... やや持ち直し

4月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、海外定期便の増便などから6か月連続で前年を上回った。韓国、台湾からの入り込みや個人客が増加した。

鹿児島地区は、韓国、台湾、中国などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、6か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、関東からの入り込みや個人客が増加し、6か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、関東、香港からの入り込みや団体客が減少し、3か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区は一部施設の改装などから12か月連続で前年を下回り、奄美地区は7か月連続で前年を上回った。

4月の主要観光施設入場者数は、前年を上回る調査対象施設が多くみられた。

【投資関連】... やや弱含み

4月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

3月の民間建築工事着工は、棟数は前年を上回ったものの、床面積、工事費予定額は前年を下回った。

3月の新設住宅着工戸数は、分譲が前年を下回ったものの、持家、貸家は前年を上回り、全体では2か月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均はほぼ前年並みとなった。

4月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、4か月ぶりに前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を上回った一方、輸入額は前年を下回った

3月の輸出額は、パルプ及び古紙、食料品及び動物が前年を下回ったものの、ゴムタイヤ及びチューブ、木材が前年を上回り、全体では35.2%増と8か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を下回り、全体で30.9%減

と 2 か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】... 弱含み

3 月の有効求人倍率は前月を 0.03 ポイント上回る 1.11 倍となった。県内求人数を業種別にみると、建設業は前年を上回り、製造業、卸小売、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

2 月の県内金融機関の貸出金残高は前年を 0.2% 上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を上回った

4 月の企業倒産（負債額 1,000 万円以上）は、件数が 5 件で前年同月（2 件）を 2 か月連続で上回った。また、負債総額は 19 億 48 百万円で前年同月（1 億 72 百万円）を上回った。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（Tel 099-225-7491）